

ここは、書きなおします。  
(まとめ直します)

以下、取り敢えずの追記です！

`r` が省略できないパターンについて：

rb (バイナリ読み取り)  
r+b (バイナリ読み書き)  
r+ (テキスト読み書き)

## open関数のモード一覧

- mode における r と t は、デフォルトである（指定が無い時）
  - つまり、r・t は、明記されていない場合が多い
  - また、キーワード引数でも位置があていれば省略できるので、mode は、ほとんど省略されている

r・w・a・x t・b + (各文字ごとに確認)

- r
  - 読み込み（ファイルが無ければ失敗する）
- w
  - 書き込み（既存の内容は削除し上書きする / 無ければ新規作成する）
- a
  - 追記の書き込み（既存の内容に追加する / 無ければ新規作成する）
- x
  - 排他的な生成に開き、ファイルが存在する場合は失敗する

- t
  - テキスト
- b
  - バイナリ

- +
  - 読み書き対応
  - ~~r・w・a・x に付けられ、それらの特性を引き継ぐ~~ ↓ まとめ直します  
↑ と思いきや、実際にコードで確かめると、そんなに単純ではないようだ！  
ただ、この問題が出ても、他のが理解できれば消去法で答は分かると思います。  
対処できない場合もあり得るが、そこまで難しい問題が出るのだろうか？ AIも間違えていたし。

### 補足事項

- この組み合わせで、16通りのモードがあることになる（"wt" と "w" などは、同じmodeです）
  - 【r/w/a/x】 x 【t/b】 x 【+あり/+無し】（4 x 2 x 2）
- 文字の並びは寛容であるが、慣習的な順序（アクセスモード、+、ファイルタイプの順）はある
  - 例 1 : "r+b" r w a x
  - 例 2 : "x+b"